



小学校

体育

5・6年生


ボール操作を容易にする 弾まないクッションボールの活用と
誰もがゲームに参加しやすくなるように ルールやコートを工夫した
『スライド グリッド サッカー』

【スライドボールの活用】



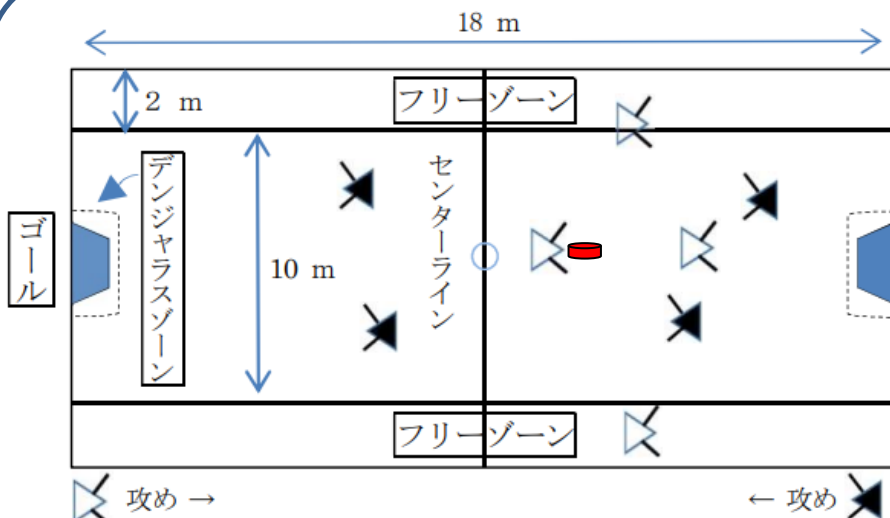
- 直径28cmのクッションボールを活用する。
- 弾みにくく当たっても痛くないため、ボールへの恐怖心を取りのぞくことができる。
- ボール操作が易くなるため、状況判断を容易にする。

【使用したスライドボールに関わる児童の感想】

- 柔らかいから蹴ったり当たったりしても痛くない。
- 真っすぐスライドしていくからコントロールしやすい。
- ボールが上から飛んでくるのが無いからこわくない。
- 弾まないからトラップをしやすい。
- チームでのパスやシュートの回数が増えた。  =
- これまでのサッカーのゲームと比べて、プレイに関わる回数が増えた。
- ゴールをたくさん決めることができて、サッカーが好きになった。



【誰もがゲームに参加しやすくなるルールやコート】(1チーム4人)



- 守備側の選手▲は、センターラインを越えて自陣に戻ることができないため、攻撃側は4対2の数的優位で攻める状況となる。
- 両サイドに、攻撃側の選手しか入れないフリーゾーンを設定した。フリーゾーンでボールを保持した際に、時間的な余裕が生まれることで、プレイを保障し、安心して参加できる状況となる。
- ゴールは、どこからでもシュートを決めることができるように、台形型のゴールをコート内に設置した。

[ルールやコートに関わる児童の感想]

- フリーゾーンがあることで、チーム全員がパス回しをしやすくなった。
- 攻める人数の方が多くて、シュートチャンスが増えて嬉しかった。
- 攻めと守りが何回も入れ替わって楽しかった。

詳細は、総合教育センターWebサイト 長期研究員 研究報告(R5)をご覧ください。